サイン

年　組（　番）名前　　記入日　月　日

デジタル教科書を問う

デジタル教科書の本格導入を巡り、文部科学省の会議が中間まとめ案を示した。識者の見方を交え、論点を考える。

調べる・覚える 使い分け

スウェーデンの精神科医で「スマホ脳」（新潮新書）の著書があるアンデシュ・ハンセンさん(47)は、「端末を学習目的の情報集めに使うのは有効だ」と評価する。ただ、デジタル教科書の本格導入は「やめた方がいい」と明言した。様々な国の研究で「画面より紙の方がじっくり読むことができ、内容が頭に入りやすいことが分かっている」ためだ。端末で学ぶと、多くの子供は深く理解せずに「分かったつもり」になってしまうとして「難しい文章や複雑な課題を理解するには、紙に手書きする作業が欠かせない」としている。

長時間利用 消えぬ不安

脳科学者の川島隆太・東北大教授(61)は「子供の脳や学力に良い影響を与える、という科学的根拠はない」と言い切る。川島教授は仙台市で2008年から、端末の利用が小中学生の学力や脳に及ぼす影響を研究している。結果は、端末を平日に1時間以上使う子供の学力は極端に低かった。端末の利用時間が長いと脳の発達が阻害され、認知機能が落ちるためでは、とみている。「動画や音声で受動的に情報を得ている時よりも、文字を読む時は、情報を処理する脳の領域は活発に働く」といい「紙の教科書は能動的な学習の訓練になっていた。デジタル化でその機会が失われてしまう」と懸念する。

教育格差 広がる恐れ

デジタル教科書用の端末には教科書のデータを入れず、学習する際にサーバーに接続して読む方式を前提としている。自宅学習でかかる通信費は各家庭の負担となる方向だ。

経済的に厳しい家庭の生徒らに無料で勉強を教える「中野よもぎ塾」に通う男子生徒(15)は「頑張って勉強するほど通信費が増えてしまうとは。親に申し訳ない」と複雑な表情を見せた。塾の大西桃子代表(40)は「デジタル教科書になれば、遠慮して勉強を控える子供がいるかもしれない。そうなれば本末転倒だ」と話した。

（2021年2月24～26日 読売新聞朝刊より）

1 アンデシュ・ハンセンさんの「デジタル端末」に対する考え方として、賛成しているものに○、否定しているものに×を付けましょう。

（　）じっくり読むことに使う。
（　）教科書として使う。
（　）学習目的の情報集めに使う。

2 川島教授によると、能動的な学習をしている時、脳はどのような状態になっていますか。後ろに「～状態」と続くように、記事中の言葉を使って、15字以上20字以内で書きましょう。

状態

15

3 新聞はある問題に対し、賛否両方の意見を載せて、読者に考えを深めてもらうようにしています。この記事で、あと1人話を聞くとしたら、どのような人の意見を載せるべきですか。最も適切だと考えられる人を選び、番号で答えましょう。

① タブレット端末などを使うことによる視力低下を調べている医師。
② タブレット端末などを使うことによるトラブルを心配する保護者。
③ タブレット端末などを格安で学校に販売しているメーカーの社長。
④ タブレット端末などを使った授業で、成果を上げている教師。

©読売新聞社 2021年　無断複製・転載を禁じます